

おきたま米づくり情報 No.5

令和8年6月2日
やまがた温暖化対応米づくり日本一運動
置賜農業技術普及課
西置賜農業技術普及課

莖数確保は今が勝負！分げつを促す水管理を徹底しよう！

6月20日をめどに有効莖数を確保し、6月下旬には中干しを開始できるように、浅水管理とワキ解消で分げつを促進しましょう！

1 天気やイネの生育状況にあわせた水管理

- 活着後は、2～3cmの浅水管理とし、**日中止水・夜間かんがい**で地水温にメリハリをつけましょう。水温の日較差（昼夜の水温の差）が大きいと分げつが促されます。
- 強い風が続く場合は、一時的に深水とし、イネを保護しましょう。

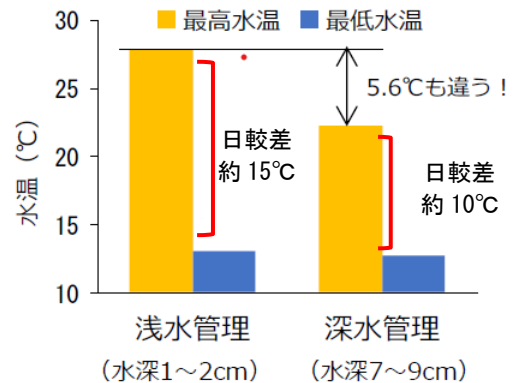
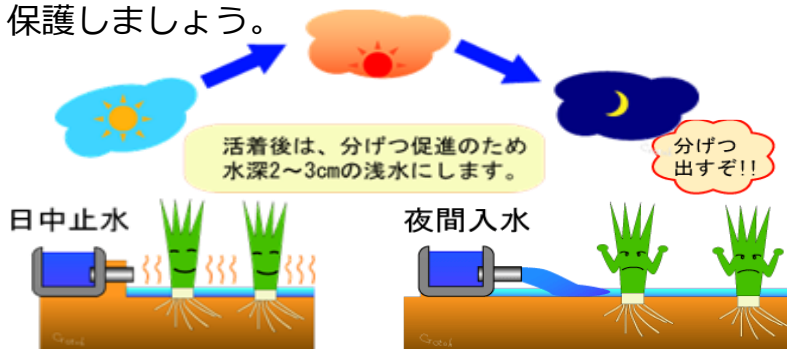


図 水田の水深と水温の関係

調査日:令和6年5月25日
調査地:鶴岡市内水田
観測地の気象:
日照時間8hr、最高気温16.9℃、最低気温9.4℃

2 土壌の異常還元（ワキ）や表層剥離は早めに対策

- 土壌の異常還元（ワキ）の発生は、イネの根を痛め、生育を停滞させます。また、表層剥離の発生は、地温の上昇と酸素の供給を妨げます。
- ワキの兆候（水田に足を踏み込んだ時にわずかな気泡がみられる）がみられた場合は、速やかに水の入れ替えや夜間落水**を行いましょう。



ワキが強いと根量が少なくなり、肥料を吸収できない

イネの根の様子
(ポット栽培、移植20日後)

ワキが発生した水田に
足を踏み入れた様子

3 除草剤は遅れずに散布し、補植用の取置き苗は速やかに処分

- 除草剤は適用雑草や葉齢等の使用基準を確認し、**適切な使用時期の範囲内で早めの散布**を心掛けましょう。**ワキ対策のため、除草剤の散布前は必ず水を交換**しましょう
- 田植え後1週間以内に補植して、取置き苗は速やかに処分しましょう。

雪若丸の安定生産には早期の莖数確保が必須！

「葉色が低下した」、「分げつが少ない」場合は、早めに各農業技術普及課にご相談ください。

春季農作業事故防止啓発運動 展開中！

熱中症にも要注意。こまめな休憩と水分補給。
ゆとりをもった作業を心掛けましょう。

